資料17

牧島デジタル大臣提出資料

デジタル原則に照らした規制の点検・見直し作業

○ 構造改革のための デジタル原則

○ デジタル臨調における適合性の 点検・見直し対象の規律の範囲 〇 代表的アナログ規制 7 項目の一括的 見直しに向けた類型化とフェーズの考 え方(目視規制の例)

原則① デジタル完結・自動化原則 原則② アジャイルガバナンス原則 (機動的で柔軟なガバナンス) 原則③ 官民連携原則 (GtoBtoCモデル) 原則④ 相互運用性確保原則 原則⑤ 共通基盤利用原則

法律·政令·省令(約1万) 国が定め |※ 代表的なアナログ規制7項目 に関するものが約5000条項 告示(約1万)、 る規制 通知・通達(約2万) 指針・ガイドライン等 が定める規律独立行政法人等 独立行政法人等が定 めるガイドライン等

検査・点検・監査 目視規制 検査・点検・監査 目視規制の中でも、健 Phase 1 全度、長さ、高さ等、 基準への適合性の判定 実地監査 目視・ を目的とするもの 実地監査規制 調杳 定期検査 目視規制の中でも、土 Phase 2 地や家屋等、実態・動 書面掲示 情報収集の遠隔化、 向等の明確化を目的と するもの 人による評価 常駐専任 巡視・見張 Phase 3 目視規制の中でも、施 対面講習 判断の精緻化、自動 設や建物といったイン フラ等の監視を目的と 化・ 無人化 するもの 往訪閱覧

※ このほか、経済界から新たな要望が多数提出

○ 規制改革と一体での医療DX・介護DXの推進

全国どこでも、オンライン診療等により、医療・介護や医薬品に円滑にアクセスし、健康を維持・増進することを可能とするための医療DX,介護DXを進める。

これまでの取組み

】※方針が決定されている事項

(今後の検討課題

在宅での医療
/健康管理

○検査へのアクセス円滑化(PCR検査車両、臨時コロナ医療施設、抗原定性 検査キット)

□ (○ 在宅で受診から薬剤受取までの完結 (オンライン診療・服薬指導に関する 日制的撤廃、診療報酬引 トげ)

○高齢者等の身近な場所(デイサービス、公民館等)でのオンライン診療(スタッフのサポートを確保)

- ○不適切なオンライン診療への対応(自由診療、保険診療)
- ○抗原定性検査キット等のOTC化の検討

専門能力の 最大発揮 ○画像診断アプリなどプログラム医療機器の審査促進(アップデート時の審査の省略・簡略化の検討等)

○薬剤師の在宅でのオンライン服薬指導

○薬剤師の対人業務の強化・健康サポート (調剤業務の一部外部委託、薬剤師による点滴充填等)

□○介護関連手続のローカルルール廃止等(自治体提出書類の様式・添付書類の統 □・、手続のデジタル化等)

革新的な 医薬品等の開発

- ○在宅での治験(分散型治験)による希少疾患等の治験の円滑化
- ○医療機器の広告規制の見直し

- ○創薬のためのレセプト情報と死亡情報との連結解析の可能化
- ○家庭用医療機器における疾病名表示※に関するガイドライン作成

※医師の診断が前提

○ 公共IT調達改革 (参考:英国のデジタルマーケットプレイス)

- 英国では**2009年以降、GDS**(デジタル庁に当たる組織)の主導で、デジタルマーケットプレイスを導入。
- 価格表、サービス仕様等を登録、公開。競争性を担保した上で要件に合ったサービスを検索して絞り込み、選択して国・自治体が簡潔 かつ短期間で契約することを可能とした。
- 2009年時点で**大手18社が調達の8割**を占めていたところ、2018年には**登録ベンダーの9割は中小ベンダー・スタートアップ**となった。

2009 Estimated £16 billion spent 80% with 18 suppliers 大手18社で 8割の調達



